

## 【第1部】発表内容（ステージ発表）

高 校	テーマ(上段) 及び 内容(下段)
岡山操山	<p><b>野生生物犯罪は防ぐことができるのか ～日本の現状を考える～</b></p> <p>動植物の違法な取引や採取、輸出入といった野生生物犯罪を防止するための対策について研究した。現状の取組によって野生生物犯罪が減少するかどうかを、日本での認知度と日本の法律の二つの観点から検証した。その結果、野生生物犯罪に対する日本人の意識が低く、法律も十分ではないことが明らかになった。したがって、野生生物犯罪を防ぐことは現状の取組では難しく、新たな対策が必要であると考えた。</p>
岡山城東	<p><b>シンボルマーク ～過ごしやすい社会～</b></p> <p>私達は社会福祉に関するマークの普及について研究している。多様な人々が共存する中で、誰もが過ごしやすい社会にするためにマークの普及は必要不可欠と考えている。校内アンケート結果の考察からマークの普及が不十分であると考え、普及が進まないのは、マークの意味が分かりにくいからではないかという仮説を立て、検証している。その中で、マークのキャッチコピーを作り、普及する取組を模索している。</p>
瀬戸	<p><b>Here I am ～オレンジリボンで包む子どもたちの笑顔～</b></p> <p>私達はすべての子供が幸せに過ごしてほしいと考え、児童虐待防止の象徴である「オレンジリボン運動」について探究している。日本の意識調査ではこの運動の認知度が約3割と非常に低いことを知った。そこで、この運動を広めるために、岡山市役所子ども福祉課と協力し、ファジアーノ岡山の公式戦会場で1,000枚のチラシを配った。また、地元のパン屋や洋菓子店には、自作のポスターを飾ったりすることができた。</p>
倉敷青陵	<p><b>生理の貧困から見えるもの ～物理的・意識的な観点から考える～</b></p> <p>コロナ禍によって注目されている生理の貧困への対応策を考える。複数の団体へのインタビュー調査などにより、生理の貧困はデリケートな問題として触れられず、支援が不足しているという実態が見えてきた。また、この問題は金銭面にのみ発生するのではないと分かった。この問題を根本的に解決するためには物理的、意識的改革が必要である。学校、地方自治体、支援団体との連携も含め、ここ倉敷で私達に出来る事は何かを考えたい。</p>
玉島	<p><b>糸の長さや曲げた回数による音の大きさの関係</b></p> <p>糸電話の糸の長さや糸の曲げた回数を変えることによる、音の大きさの変化を調べた。まず、1m、10m、30mの糸を準備し、一方から音を出し、もう片方を騒音計で20回測定し、平均値を得た。次に、10mの糸を最大で4回曲げ、同様に平均値を得た。大きさは糸を長くすると減少し、曲げた回数を増やすと増加した。減少した原因は音が伝わる距離が長くなったからであり、増加した原因は張力が大きくなり、糸のたるみが無くなったからであると考えた。</p>
玉野	<p><b>フィンの形状改良による競技用モデルロケットの開発</b></p> <p>私達は、フィンの形状を改良することにより、高度競技及び滞空競技に適したモデルロケットの開発に挑んだ。そして、得られた成果をもとにモデルロケット全国大会に出場し、滞空競技では全国第3位に、また、女子チームで第1位、中高生チームで第3位を獲得した。</p>

## 【第1部】発表内容（ステージ発表）

高 校	テーマ(上段) 及び 内容(下段)
玉野 光南	<p><b>「たまのチューデントプログラム」活動報告</b></p> <p>私達は玉野市の「たまのチューデントプログラム」に参加し、1年間活動してきた。玉野市のボランティアガイドや瀬戸内国際芸術祭のサポーターの方からのレクチャー、フィールドワーク、インスタグラムでの投稿などの活動を通して多くのことを学ぶことができた。地元玉野の魅力に気づくことができ、その魅力を多くの人にも知ってほしいと思えるようになった、このプログラムの活動報告をする。</p>
高 梁	<p><b>空き家活用</b></p> <p>高梁市では、人口減少に伴い、少子高齢化が深刻に進行している。現状に歯止めをかけるには、空き家を有効活用した市外からの流入促進が一策になると考えた。</p> <p>校内調査で高校生の空き家に対する認知度をリサーチした後、空き家を活用したカフェを訪問しての聴き取り調査や、空き家リノベーションに参加した。これらの活動から得た知見をもとにパンフレットを作成し、空き家とその活用法について市役所に提案する予定である。</p>
邑 久	<p><b>ジャンボタニシ（スクミリングガイ）による稲苗の食害軽減と肥料化に向けて</b></p> <p>スクミリングガイによる稲苗の食害被害が、近隣の水田でも深刻化している。そこで、貝の効果的な捕獲法研究に取り組む中で、段ボールと米ぬかを組み合わせて設置することで多くの貝が捕獲できることがわかり、田植えの時期に、貝の捕獲を行ったところ、ある程度、被害が軽減できた。また、捕獲した貝の肥料化についても取り組み、数か月発酵・乾燥した貝を、ある割合で畑の土に混ぜ込むことで、効果が見られることがわかった。</p>
鴨 方	<p><b>デザインの学習を通しての地域連携の可能性</b></p> <p>社会や地域の中で実際に活用されるデザインの意味や重要性について、地域に密着した具体的な題材を通して学習することで、地元「あさくち」についての理解と想いを深めることになった実践事例</p> <p>①『浅口市社会福祉協議会広報誌掲載「季節をテーマにした4コマまんが」の制作』 ②『浅口商工会主催「あさくちフェア」で使用する販売促進用前垂れのデザイン』 について発表する。</p>
和 気 閑 谷	<p><b>耕作放棄地の活用</b></p> <p>和気町には、現在耕作が行われていない、耕作放棄地がたくさんある。そこで、私達は、その一角を借りて、活用方法を模索している。</p> <p>現在の耕作放棄地は、草が生い茂っている状態である。そこで、地元の方から山羊を借りて除草できないかと試してみたが、山羊は草の柔らかい葉の部分しか食べず、根っこまでは完全に除草できなかった。今後は、草刈りをし、土を反して、畑として復活させていく方針である。</p>
矢 掛	<p><b>やかげ学 10年</b></p> <p>町内12施設で毎週木曜日に実習活動を行っている「やかげ学」も10年を過ぎた。今まで500名以上の卒業生が「やかげ学」を体験し、現在では地域社会の様々な分野で活躍されている。今回のステージ発表では、現在の「やかげ学」の取組を簡単に説明し、実習施設の方々や卒業生へのインタビューも踏まえ、この授業が自分たちの暮らしや地域にどんな影響をもたらしているのかを考えてみようと思う。</p>

## 【第1部】発表内容（ポスターセッション）

高 校	テーマ(上段) 及び 内容(下段)
岡山操山	<p><b>体感温度と電力消費量の関係性</b></p> <p>日本の電力消費量が減少していないことが問題であると考え、体感温度と電力消費量の関係に焦点を当て、グラフ化した。結果として、体感温度と電力消費量には相関があること、また、体感温度が平均値以上の場合において、最暖月以前と最暖月以降に比べるとより強い相関関係があることがわかった。さらに、最も電力消費量が少ない体感温度からそのときの気温を逆算したが、予想値とは異なる結果となった。</p>
岡山城東	<p><b>インターネットがもたらす人類の発展</b></p> <p>我々は「インターネットは必ずしも人間にとって良いものとはいえないのではないか」という考え方のもと、「インターネットがもたらす人類の発展」というテーマで課題研究を行っている。情報格差等のインターネットの課題に着目し、考察していく中で、インターネットの有無は貧富、教育、医療等にどのような影響を与えるか、また、それらを解決するには我々は何をすべきかを見いだして発表する。</p>
瀬戸	<p><b>フェア♡ハピ ～フェアトレードでみんながハッピーに！～</b></p> <p>私達は、「フェアトレード」に関心を持っている。校内でのアンケートから、フェアトレードという言葉は知っているが仕組みを理解していないことを知った。そこで、フェアトレード商品の一つであるバナナを中心にマフィンやパフェと組み合わせ、マフィンは校内に、パフェは校外に向けて商品開発を行った。多くの人に食べてもらうことによりフェアトレードへの関心が高まり、理解が深まることで最終目標である貧困を救う一助になると考える。</p>
倉敷青陵	<p><b>ロマンティック古典 ～月が綺麗ですね～</b></p> <p>「時代によって愛の価値観は変わっているのかどうか」を検証するために、恋愛に関する古典の代表作である「伊勢物語」の和歌全209首と平成・令和の代表的な恋愛ソング（「LINE ミュージックラブソングランキング2021」などを参照）の歌詞を比較し、分析した。果たして愛の本質は平安時代から平成・令和の間に変わっているのだろうか。私達の研究を通して一緒に考えることで、古典に親近感を持つきっかけとしてほしい。</p>
玉島	<p><b>子どもにスマホ、触らせる？</b></p> <p>小・中学校や高校で一人一台端末が導入されるなど情報化が進む現代において、家庭における子ども達のメディア使用状況はどんどん変化している。子ども向けコンテンツが増加する中で、子ども達の成長への影響やスマホネグレストといった子どもと親の関係を調べ、問題点を考えていきたい。</p>
玉野	<p><b>漁業の視点から考える香川県直島町の持続可能性</b></p> <p>香川県直島町では、漁船漁業、魚類養殖、ノリ養殖を組み合わせた漁業が行われており、中でも、海面養殖業収穫量は県全体の約2割を占める。本研究では、直島町における海面養殖業の現状と課題、持続可能性を明らかにすることを目的とし、直島漁業協同組合でのヒアリングと、養殖に関する資料の収集を行った。直近10年間のハマチとノリの生産金額の推移を比較すると、直島町ではハマチに比べ、ノリの減少幅が大きいことが分かった。</p>

【第1部】発表内容（ポスターセッション）

高 校	テーマ(上段) 及び 内容(下段)
玉野光南	<p><b>玉野市の特定外来生物ヌートリア問題</b></p> <p>外来生物の問題を取り上げたテレビ番組を見たことがあるだろうか。テレビの中だけの話題ではなく、玉野光南高校周辺でも外来生物問題は発生している。私達は登下校中にみかける特定外来生物のヌートリアについて、玉野市役所にメールインタビューをして現状を調べた。さらに、ヌートリアの肉が食品として売られていることを知り、実際に購入して調理し、食べてみた。これらの探究活動の結果について発表する。</p>
高 梁	<p><b>地域の特産品を使ったレシピ開発</b></p> <p>地域の特産品であるトマト・紅茶を使ったレシピを開発し、提案することで広く知ってもらおうと、生産者の方や給食センター栄養士の方と協働して取り組んだ。試作を繰り返し、栄養士の方や市役所の方などと連絡を取り合い助言をもらいながら完成させたレシピをもとに作成したものを、地域のイベントで発表することができた。また、レシピは給食献立として給食センターに提案したほか、地元ショッピングセンターへも提供した。</p>
邑 久	<p><b>瀬戸内市アンバサダーズを目指した活動</b></p> <p>瀬戸内市の人口減少が今後もたらす危機的状況を知り、市内唯一の高校に通学する私達が地域の方々と共によりよく暮らしていくための対策を考えた。これらの問題解消に向けた長期的な広報活動をするために、瀬戸内市の良さや強みを生かす取組の調査や市内の歴史的・文化的行事への参加、移住者へのインタビューなどをする中で、住民が地域を大切に思う気持ちを痛感した。その気持ちを受け継ぎながら瀬戸内市の魅力を紹介・発信する。</p>
鴨 方	<p><b>不器用な自分にもできる仕事</b></p> <p>「不器用だけど、人の役に立ちたい」「絶対、介護福祉士になる」との思いから、介護を学べる鴨方高校を選んだが、介護を学ぶ中で、他の医療福祉系の職種にも関心が広がった。現在は作業療法士に興味を持ち、調べたり、施設を訪問したりしている。知れば知るほど新しい気付きがあり、まだまだ研究中である。また迷うことがあるかもしれないが、しっかり調べ、考え、自分を成長させて、将来の道を切り開いていきたい。</p>
和気閑谷	<p><b>ビオトープ ～多様性のために～</b></p> <p>私達は、先輩方から引き継いだビオトープを発展させる活動を行っている。引き継いだ活動は、多くの生物を共存させるための土手作り、旧閑谷学校の泮池で増殖したオオカナダモの除去だ。まず、岡山県自然保護センターで水温、水の循環などの有力な情報を教えていただいた。実際に、ビオトープの周囲に土嚢を積み、土手を高くする作業やビオトープの生態調査を行っている。今後は、土手を完成し、ビオトープの生態調査を定期的に行う。</p>
矢 掛	<p><b>「やかげ地域紹介動画」の作成</b></p> <p>1年生で展開されている「ESD基礎（総合的な探究の時間）」では、地域を知り、持続可能な社会形成を考え、それらを自分たちの生き方に結び付けていく授業を行っている。一人一台端末（iPad）の本格導入が始まった今年度からは、「ESD基礎」でもその効果的な活用を試みている。今回の発表では、地域の公民館や商工会と連携して行った「やかげ地域紹介動画」の作成例を紹介し、様々な意見交換を行いたい。</p>